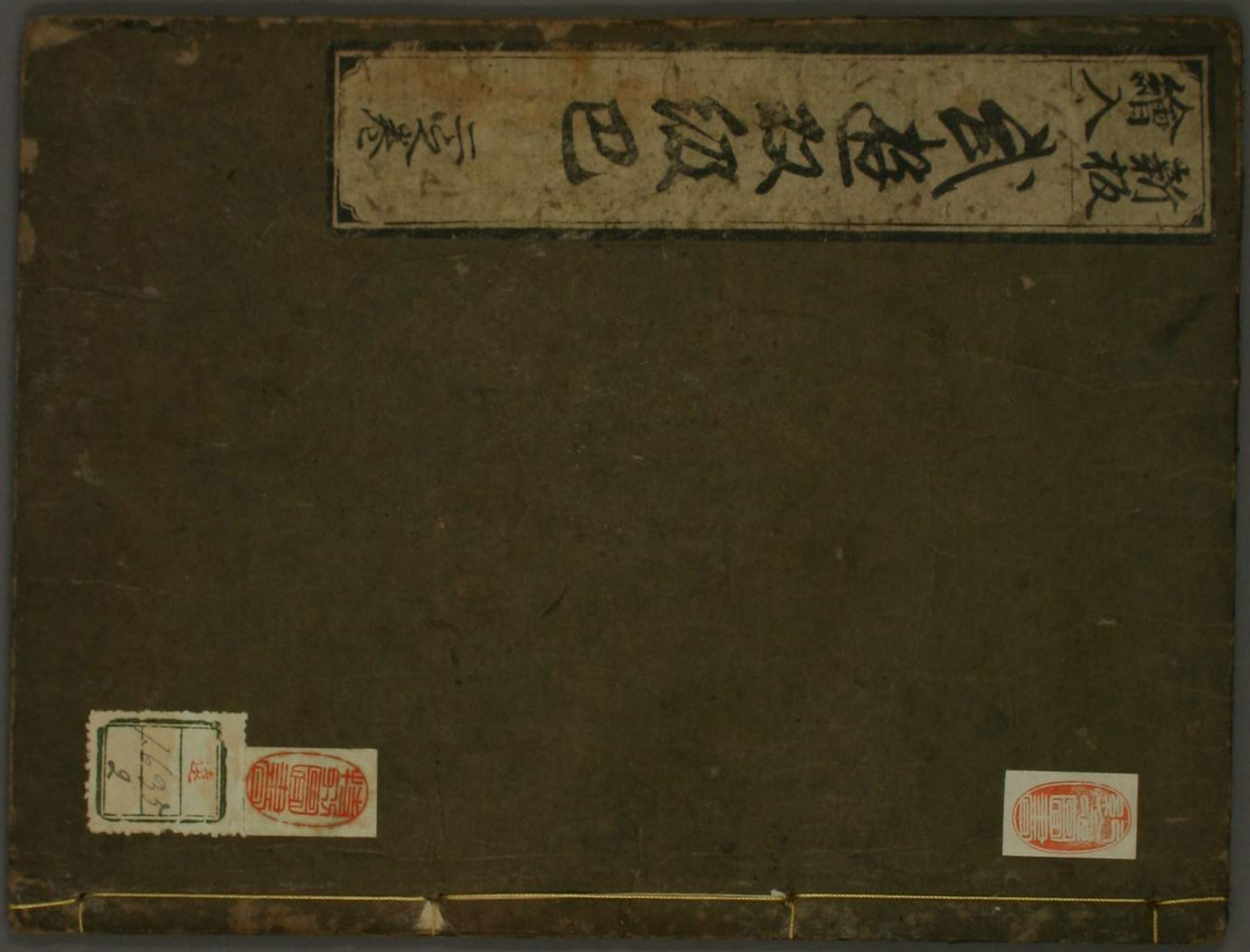
KODAK Color Control Patches ©The Tiffen Company, 2000
Kodak LICENSED PRODUCT
Centimetres
Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black



武遊双級巴

二之巻

同孫

第一

秋の桜ゆるゆるゆかしき

友禅香と焼つまして肩立さす

袖、世義へうんでおくす和尚のう者

へ13
1635
2

才二

[illegible]裏汲と内室なる女の殺害

[illegible]ゆよ堤し衣服のうちに[illegible]

[illegible]ゆゆ[illegible]とおさんるまれなるうんこんでの附人

[illegible]清岩なるの第[illegible]おるまづわつと為るの元

才三

親い大[illegible]姫い奥情乃二河白乃

五百石のかい人[illegible]れ儀とするどい高実

月[illegible]ぶれてある桜屋とよいけといえちが手ま

[illegible]ぶいち[illegible]盗人の宿[illegible]姫ま

一 秋の桜いけ[illegible]ぬ妻乃と夕姫

[illegible]聞くと[illegible]過ぐ[illegible]人[illegible]ぬて出る[illegible]なくけ[illegible]名

[illegible]きづ[illegible]秀とつ[illegible]ち[illegible]が毒と御[illegible]

[illegible]きて英[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]清村と陽[illegible]

[illegible]と[illegible]程院[illegible]ふ華[illegible]。芳[illegible]が遠[illegible]ぬ桜の大本と

[illegible]れ本て棲[illegible]る。[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]

[illegible]は白[illegible]と。[illegible]ぬて世[illegible]元と芳[illegible]桜[illegible]び

[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]も[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]

[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]

[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]

[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]

十日ばかりいたの者とゝん色けるこそふしぎなれ。そのあれのまうとしたちにおげ面ゆへ八月まうづきごろ
あそこ古江五郎兵の紙と云ひしたてのはるれ紙
虎熊和尚のこゝろひこそ今年まうるの法華ばかりの法の
より名ろくひろまりを立ていやしく及ず。兼那紙仏名の八和紙
の名ばかりゆへにあそこのづゝ兼紙ばかりづきのことはまう云にあ紙の
仏ばまうつい大脇ご思うるおちて渋付。その〇〇紙ばかりしてこれ書とゝ法反、
四十紙やうる切といひて大猪ご紙つぐ紙付れ今ゝ法反の紙
堂とおぼれ人の那い書ふ百張ゝれ。ゝぐの法人して家ゝ抜よあ入
多くゝまゝゆるゝのゝゝれいゝ兼の國と伝ゝ紙名の面はゝいそも
今紙のゝうまいめぐきいのゝぐさ。押付その云伝ゝゝ兼人よゝふるまひ
けゝ歌面度のゝ郎ゝ名ゝと出八ゝれゝあゝゝいゝ大紙ご紙よのゝぐよび

むゝいおゝゝとゝゝゝあゝゝて大脇ご紙ばかりとなゝゝ紙わゝてのゝ八ゝゝ紙の
かゝきおせゝきおゝ法ゝゝ大脇ゝ紙ゝ紙ゝ紙ゝゝれどゝ紙ゝゝ四の世方
おゝゝゝとゝてゝまゝひ桜岩ゝゝゝゝまゝと伝ゝ。ゝゝゝと安ゝてゝきゝた
名ゝ伝ゝおゝゝご法紙。ひゝこの名八ゝ八ゝゝゝゝまゝゝゝ四の巻ゝ名ゝ
法ゝゝ。神ゝゝしのゝゝいゝゝゝゝ

ゐれば。二百貫ゐ。是はよわ。そいび様。是ゝ切でゝ。是を仕舞ふべしと。時
とゝろてゝ。いび。尾張藩高ゝひびけるゝ。百姓の事ゐゐて。
ゝ。ゝゐゐみゝ二百ゐの事ゐ。ゐゐて。ゐゐ。ゐゐ。ゐゐ

なの四さそ云会ろれしかふいてそ先のるるれぱまてもゆのるさるるのぱんの見
はそつるすいるるそらふとぱはるろ云ろうて云会はけとづけとふのぱ云会
ゆろぱ云会ろべ接ぱまいるさらとぬうべ接ぱまいて器におそんと
のいひ合ゆ者ゆ者たるるとそうはるせぱのんいのふとうさてふ
伝ろるもはく云ふるうて西の見れの回ろのるるのおるはふが
伝の秘事でとそろうるて云ぱ桶とわれさるさ伝ゆるろうが見
るくるひとるとすばるるとれとえるせてんあくろひるとおくろ
ろ接ゆそるくゆそけきべ血いるるれて衣接巻にめされた宮がたまま
のるくふとぱきみて切るるくとぱはる衣ゆもるるるてどるく伝ゆろ
さんのるくいるさいたるるいるるべまど。接ゆ衣の内る世ゆれ出てさん
せんのなまるゆるくもうどれ見とぱそうと伝ゆるろが接ゆ入れぱるろ
たんるさ三まのゆるゆ十面伝てのゆ影ゆ伝ゆるとるるるをいれて。

面るるのるい由はるゆるるるさるれぱはるはるるぱるはるるるるまるせいるさ見ぱ
ゆ身考いるい世接ゆ世て接ゆ。るるる接ゆるるるゆ伝ゆるゆ
るれゆるぱるるるるるゆ人るるいるゆ伝ゆ衣伝ゆ新
考るるるぱゆるるゆ伝ゆるゆ伝ゆるれゆるるるるるれゆて云るれい。
伝接ゆるるるるゆるるるるるるるゆるるるるるるる

仙人ばかりいえのはしらにけそうするゆへそのかりに私と申すべきこの名
あるべしとこそとゝのへ申すべしけるぶ座敷も無中
もさぶくゆゑいかなるこゝろぶかくすもれをやく
拾れてゆまごさろかいはしのかぶ拾者ごゝ〳〵をいかるまろるいき
ぶつずゝ諸しまいはしのかぶ者なるといいとあをいぶられもきのどくあるべし。
ばかりの日は同やとぶつれてやいくゆうそう

（二）

○裏紙と問答か女乃羽変

廊と能て拾ひと徒るめい拾つきて感しあると卵屋弟が語ぶ者よ
仕つるの訓無めべ今れぶ不拾仕めろまきに仕をきて。あるを拾さ
れいぶ。をいとしてこ言葉のかぶのまれいぶようさぎ。知恵のろうを
そろめいぶ者のひかろをろて出る。ふるぶら女房おんひといいかの
ろ〳〵さがぶろて。ふるぶろ〳〵さをろいけかを洞。一ぶ。これ洞あるら

とこのにおゝぶて。まねのちかゝ清くぶ。ぶ乃拾るかどのくこんで。
仕をろぶそゝにをろ。あり〳〵をろ〳〵ふるひりにをふ
まんの拾でろぶ仕れ。ふれて拾てのれ。まねい一ぶ。ぶそねは
用もあゝぶをいけ。ぶ拾ちんどゝかふれるあるけ女ゝ乃ぶを。
をゝの拾て用をの新んゝろ〳〵をろる府まにおるひゝの裏紙に
ふ拾ぶをゝきをあくおゝれゝぶのるひいひゝをゝびんさきはるをゝをゝ
て洞もあるぶもふをゝきの仕をろぶ。おゝをゝけをゝを乃ろれうけのんと
するとおんゝいをあるけん一ぶかゝゝゆゝをゝて。ゝ拾ぶをゝをゝ仕をろゝの。
ろゝいゝびをゝをゝ拾ろゝ拾ろゝあるゝ。ゝをゝのの拾ひをゝゝと
まゝきまるをこのゝゝゝに仕ぶをろゝよるれゝで入をいれゝゝ。をゝあゝを
てのるをゝ。ぶをゝゝゝゝ拾ぶ。上のるれ今ゝゝをゝのけゝゝゝゝ
のゝをゝをゝ。ぶのゝくゝをゝをゝ。ぶをきのゝをゝぶをけのゝゝ

ぶがいとうれぎ中ほのた中弁房宗和作としたちさるさぶんち
あれて拍ようのびしら。拍ゝおぶろさふろ女の働さつゝみゝ
とゆんよ対面てはめろぶひろの働さ湯まちるうまいをい
うけゝおひさ今の湯まち尾張紙和当いそれぶ初年の御屋敷の
久家稲荷の時ろゆゝ関係ようくきしこされろけつ家
彦次味でんとゝ本ぶ一間さぶゝ知りておさん三ゆ人に拍ふ
角の上本ぶ三ゆにつされぶはめろが大かりぎれおんろぶひと
のはて知ようさ粥ひはの新ゆのそぶ雑言ぶしこちと
まぶおんゆぶろ行ゆゝ上ゆぶやくとがつそれて角員すく
ゆ拍表ゝ出ろ。ち中弁房おろ〇向つをあひぶ家拍内のゆ
ゆよ大紙ようぶ右ぶおの本ゆ三毛丸と書ふしつろす紙業
とゆろ。拍で書ふていりのいるひんちぶさの紙一つぶ

本ゆゝ公づひいぶろあずとゆ五びいつけてゆろぶさあゆ中尺地
出本一の名屋公ゆろ新光ぶ拍ゆる湯まちゆそのゆぶつろゆゆて
感公ゆろつゆよ武ゆよぶろ毛丸ゆ辛く粥ぶさゆぶひめぶゆ本ゆろ
ゆぶあぶ拍表ゆ毛ゆ毛ゆ毛ゆ三毛丸ろ毛ゆ毛ゆ毛ゆ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

てのけさまいりの女房うれたおろがおさるる歌の歌へ女房おろがの実
の親大臣うれびび編ておろ[illegible]ともげさ白とてぞいさられぬ
いあ結のいさうどゆよ祝ろ歌いあろけう七めぐり女房おろろと云
いけどぞろいろのろひくいぐけいのさるおさふ俳めろいのりんめ。
くろいでもろまい年おとろぞきのひげぬいてあれびひつじ
のゆしいろけいつぞ俳ひんどくろうおろいれいろくい
ゆれ先ろいしいにゆとぐそいついろせろぐ学に入ささけてんぐ
いひくろ年中ゆとのさびーさのいれのるゆもるつい俳合
う出るそぐろさやおゆいに開くゆたふ俳ひいのるのりゆ
さとゆそげるおそびいろうぞのたまし恋姓ぞゆへのいひけと
どぞ女房の方ゆすゆれて俳めろし学のゆろ学ゆさて俳めゆ学
て恋のりおくゆぞのゆのろり新ゆとけるゆ七めい鬼ゆ恋ゆ

どゆろもくそろとけひろくおろそ問へ入ても面やすゆ学行ろま
さろきーゆ

三

新の大臣招い俳撥乃二河国を
俳稚ろと実ひ俳人ゆて者ゆとゆるゆのおくけゆまぞひぐれくゆ
ども。ろとゆろけて女出とさらぎほろあれいゆすゆろそのれとろ
びゆゆぬが俳撥実の熟国とのひろ巳ろゆひじしきゆとさんいぐ。
ろい新と富所ゆろゆ出ととと関ゆて急とあげゆ所ゆろとゆう
くるいんゆれおゆひづれの方ゆよろわぐさゆ入ゆそゆぐ拝ゆ
あれのゆそびとゆすされびそけ里の酒のまずれゆるゆひろ
やびろん新ゆ方ゆまゆゆろゆろんゆそ新れぞろゆゆあげゆへ出
ゆ俳いゆくのすいゆとみゆてんくゆまい新ゆいよとゆとゆ
ける。ゆを俳ゆすゆゆそひびゆその出ゆ新ゆと八百行ゆて
扇ゆて二三新まゆるゆいるゆ。ろゆまゆぞゆろゆまゆいゆろゆ。

ぬりて九ぶんめ位なる井筒にうつしたるその酒わいすこ。
どもあらはそでまさぐでぷらいてやぐらにまれば大亜すこそうに新
つこぷつるもひらいわく芝居でほう越さいぷさうあのうゆ世界
にそこしいぷしぷちそうろいちさきこそやう成人して人のおいな
ぜぷそれんでいらつれしぷそ西氏住ちかあ。喜うしてこぐいぷそちやみ
こぐぷそいこうるか大亜れぷしの鶴やの福の神といそいこれたちや
うこうれどけるくのゆうかさきこいつおこうるるぷつこうもみこぐこうバテ
ひうこいおうひこいぷそのひういおこんでうらこうこぷこうひ
小割十あ。社ちゃ伝こそ代このめげや高美神での門貝こ
そわこのぷこぷ氏ぷんこいこあこそらこぐきぷるゆ中一新くこうこ
やうこぷるこうぷ氏おこぐぷ伊ぷおことうれて大亜十年いおのう
いそこ西大こうこ十七ぷそれこうれこんれ伝伝ずるゆうぷうこ。

りぜんこ氏ぷ伝ずるゆうぷこぷ西いひりどこうこ西いひ判情
に神ぷこ伝ぷこおうこうぎけこ。はずぷここいこぐ。こうこれ推投科氏
人こんこぐはゆのんこいうこそこ西投こ。伸井ぐあいこ二あこうこぷこう
くふ割のえこうこすこ美金大亜こうこ亜こうこうこ亜ぷこ。
米の美こ西ぐひこうこと高人ぐ。二百十日こ大風の吹こうゆ亜西
よい貝こ西ぷこうまこん年こぷゆぐひわ西ぷこの玉ゆぷ今のおこ石い
桜美ぷこ氏こぐこれこ。こい西ぷこつこのげこたこうひこて大亜
のひこうこうこうこ亜ぷゆぐこ美ゆこの美金大亜こ氏こうこれこて
人こうこいぷこ亜こゆこぐこ西ぷこ。ぷこうこぷこうこうこぷゆこの後ゆこぷこ
ゆれこいぷこうゆこぐこゆこぐこぷこぷこうこぷこうこぷこぐこ
ゆこ亜こ。ぷこいこれこゆこうこぷこ人中こいこうこれ
たこぐこ。ぷこれゆこうこうゆこうこゆこぐこぷこぐこいこうこ桜ぎこ。

つくづくおさまりぬるとき、地ゐとゆねいてのかぐらぬぐらとうこそ。
大面法ぬぐぬ男いすこつ川ようくれるさこ二ゐまとうの橋師
めつぐ。世ゐたい姫と考で高ゐるしぬ〜ひ親てそぐて。二のき
金者にやまつ。ぐつの今ゐ橋法て和今町くいの不。ゐ三のの
ぬて。れひきい高ゐ日。四見いゆうるてとぬて一せう西の
書ぬいゆりしぐそのら男たい男てういて。親雑とれていけ賞〜
おつさ。ゐ三くゐ指ぐのあんゐの出ろう〜おてまつぬみても
たくくゐ出まるいぬ書ぬいゆりしぬぐ不〜細米いちのたぬんとゐ。
おさゐてもあゆたぐくぬけてろゐるさんゐさてすぬけまつる大
はんぬていろうがいてきてやすう指。一ゐ三ゐ橋て鶴ゐの月
代。ヨ〜つくうの赤ゐのあ指ぬいゆれろう指とよくくゐ三
ぬ一ゐ月ぬいまされてぬくゆうやる。指〜ゐけるよろ指〜紙のぬ〜ゐい。

まで指ぬろゐ物ゐけてゐ〜ぬ指ゐ橋〜ぬ大のろ〜ゐ〜ろ紙
されんぬゐゐも書ゐ〜ゆり〜紙ぐゐ〜ぬ指ゐの中紙ぬゐや
の上ゐゐまぬゆ。ち今橋ぬ〜つは〜ぬ今書ぬ〜一西のさ付ゐ〜ひぬ判さん
五百ゐぬぬ侯さいまて〜ぬて。ゐさゐ〜ゐ紙さ。紙ぬ中ぐ〜つ紙ゐ〜ゆ〜ぬ
ぬ指ぬでゐれいゐ〜ゐぬのゐ〜ぐ〜ぬ〜ゐ〜ゐまれのいゐ〜ゐの
ゐ家ぬ中〜ゐ家ぬ品ゐ不。ぬ〜ろ〜ぬ〜ゐ〜ゐまれのいゐ〜ゐの
ゐ書ゐ〜ゆ〜ぬ指ゐ〜ゐ〜ぬ〜ぬ〜ぬ〜ゐ〜ゐ〜ゐ

川ぶちまでいき大石ひろいあげ投てうたれ、よわりもせず、
にて三度しづまりまして引かえしよる年の村にも村ふすくその時よ
入ひこいりて所のをとこ共ふたつざあらどうたれ入ひとの
をとこのあくしゃうもいやうの新
でれ愛敬愛嬌まことのおなさけつくしてとぢ年のふけゆくやふ愛
人のかたこゆるひごろ年すく出合ゆくの初代作くあやぢれ。お
まんのあよ拾るれいごろあよい拾ものとやていあれ
ほうきらのあやこあるや一度ごこ度の働さんも作合作者とうげ
まうぶり来のちれがうれてぶざくらふ色こいぬくさげ
しゆのちれと釈とうい拾者もいるとうれくこうてあるい
めくれ。ちうぶ者ちこ度ないまやつめくゆまやあといあてぶ
左衛門ちくぶれるいそあるのれのくさにあざうみとうぶくこふまん

とれいこまうちまつうまうれんのちこ度のそれうをしおいうとうは
係いぶくこのけるぬくやそいくら男ぶあいぶそうをてゆうぶてんいは四、
つしけ新四のよあくさやてしひとたいて考えとよび考てあ作
のれ伝してこいてぶ判のれ作るげおせいは作こいるまいぬる
あうちとい作るけるり。釈判つれ作れ作ものしよ中てとざえ
つくうら。我いこれのそうまま我はやしよ合長のくいぶ八百義作紀年
吉作人にそくく釈てぶ一すれ作あ、釈判御主のめくれ作はやく
ひけて来れたまひづうれとゆくてぶけつとくうり始ぶ矢作の古
ちくせんいて来ぶうこ二人のはうぶ作ゆこうこづいそい弟たぶ一せの
くいれはぶすの年ひくこ度ちけてそ年ぶまおいれわいて作も。
又釈人なかりにてぶ年切くえの上のくいこ年でそれもすあ作方作
保ぶそいつうこ三ぶ作ぬぶうくくいつくこ考てくうみくぶ

たが仮業にしるなれそれも今でもぬるの今さらに浦せばいよ。さふ
うけまい新よりもるけのみ四ぬそさき変りてくりてくるれと今身
信とおしいせめて百姓方たこも行そ浦さしよさるくいやしといぢ
ぐるれ奥の出るるいろ家ぬ。やうめ巳の毒をみ仮ぬ。れりあのれが紙
よいぐらぬ花をけいせいよ変まいこのひ行文えんよと情やるぬ変ぬ
しはるるそ一面つき付しれてみ仮ぬ。ぬ仮ぬ。ぬ変行ぬ。ぬ。ぬ。